

第6期科学技術基本計画の論点（案）について  
以下の点についてご検討頂けましたら幸いです。

## II 章 各論

### 1. 科学技術・イノベーションエコシステムの基盤構築(データ基盤、人材、資金)

すでに提出している意見に加えることとして

- ・ 我が国の女性研究者参画が進んでいない原因の分析が必要
- ・ とくに「女性支援」の観点ではなく「男女ともに力を発揮できる働き方」への意識改革が必要
- ・ 国の施策として内閣府男女局、旧文部省系（生涯学習局、国立女性教育会館等）、旧科技厅系（JST ダイバーシティ推進室等）に分かれており、司令塔がバラバラである問題
- ・ 上記に関連して、データの継続的な収拾、分析、公開が為されていないことが問題
- ・ 英国の Athena SWAN のような、研究費と連動した、費用対効果の良い施策が必要

### 4. 各セクターの役割 ※ 1～3の具体的取組を整理した上で要・再整理

#### ① 政府

- ・ 科学技術・イノベーション投資（国が責任を持って取り組むべきインフラ機能・基礎研究の推進）

（意見）

- ・ 国が責任を持って取り組むインフラとして、大学キャンパスを共創の拠点として、ハード面の整備を一層進めることを位置づけていただきたい。
- ・ 国立大学は引き続き、科学技術イノベーションを支える知の拠点であり、それを支える施設整備も重要であるが、一方で古い施設も多く、必ずしも最先端の研究に対応出来ないものもある。
- ・ また、前回の委員会で篠原委員がご発言されたとおり、新たな価値創造には大学、産業界、地域社会が「共創」していくことがますます重要になっている。そのような中で、知の拠点たる大学は、キャンパス全体をイノベーション創出の場として整備していくことが重要。これまでも、大学施設を活用した産業界との共同研究などは行われてきたが、最近では、キャンパスを使った実証実験を行っている例もあると聞いており、このような取組ができるキャンパスを全国に広げていくことも期待される。